

2023年度事業の点検・評価

1 概要

「第二期愛知県図書館の基本的な運営方針（2023-2027）」（2023.3）の五つの「目指すべき姿」と数値目標を踏まえ、毎年度、事業計画と数値目標の達成状況について、当館及び図書館専門委員会により点検と評価を実施する。

2 数値目標の点検・評価

- 「蔵書検索アクセス数」、「企画展示の実施回数」、「イベントの実施回数」、「職員研修の受講者数」が目標値を大きく上回ったほか、「SNSの発信数」、「市町村立図書館経由で貸出を利用する学校数」、「デジタルアーカイブ公開数」が目標値を達成した。
- 「利用者の満足度」、「SNSの閲覧数」、「県内図書館等への協力貸出数」、「電子書籍へのアクセス数」は、目標値の8割以上となっている。

| 目指すべき姿 | 数値目標 | 2023年度数値目標 | 2023年度達成状況 | 評価 | 策定時の現状 |
|-----------------------------|----------------------|-----------------------------------|--|----|--------------------------|
| 1 全ての県民の「知りたい」に応える図書館 | 蔵書検索アクセス数 | 2,100,000回 | 3,064,972回 (達成率:146.0%) | A | 2,085,425回 |
| | 利用者の満足度 | 「来館の目的が達成できた」が現状(2021年度85.6%)を上回る | 来館者アンケートでの「来館の目的達成度」が84.0%(達成率:98.1%) | B | 85.6% |
| 2 情報発信・交流活動の拠点としての図書館 | SNSの発信数と閲覧数 | 発信数:1,000件 閲覧数:900,000件 | 発信数:1,169件 (達成率116.9%) 閲覧数:727,515件 (達成率:80.8%) | B | 発信数:974件 閲覧数:866,477件 |
| | 企画展示・イベントの実施回数 | 展示:50回 イベント:70回 | 展示:80回 (達成率:160.0%) イベント:96回 (達成率:137.1%) | A | 展示:48回 イベント:26回 |
| 3 ネットワークのハブとなる図書館 | 県内図書館等への協力貸出数 | 16,000冊以上 | 14,517冊 (達成率:90.7%) | B | 15,336冊 |
| | 市町村立図書館経由で貸出を利用する学校数 | 22校から24校に拡大 | 22校から28校に拡大 (達成率:116.7%) | A | 22校 |
| 4 デジタル技術の活用により新たな社会に対応する図書館 | 電子書籍へのアクセス数 | 現状(月平均5,541件)を上回る | 5,380件 (達成率:97.1%) | B | 5,541件 |
| | デジタルアーカイブ公開数 | 1,131タイトルから1,140タイトル以上に拡大 | 1,147タイトル (達成率:100.6%) | A | 1,114タイトル |
| 5 持続可能なサービスを備えた図書館 | 職員研修の受講者数 | 延べ500人以上 | 761人 (達成率:152.2%) | A | 488人 |

・ 目標値を概ね達成しており、事業が順調に進捗したことを反映した結果となっている。

3 事業計画の点検・評価

- 87の事業項目のうち、新規事業の主な取組状況は下記のとおりである。

- 「すべての県民の「知りたい」に応える図書館」に向けた取組（32事業）
⇒ ・障害を持つ方への郵送貸出サービスの対象を拡大した。
・雑誌スポンサー制度にて、15の企業・団体から37誌の提供を受け、資料の充実を図った。
・地域づくりに関わる方々への支援を目的とした「地方行政・まちづくり支援コーナー」を開設した。
- 「情報発信・交流活動の拠点としての図書館」に向けた取組（13事業）
⇒ ・「あいち県民の日」に関連する展示を2件、イベントを3件実施した。
・読み聞かせボランティアの追加募集を実施した。
- 「ネットワークのハブとなる図書館」に向けた取組（22事業）
⇒ ・県図書館と市町村立図書館職員との人事交流を3市との間で試行実施した。
・学校貸出用セットを用意し、県立学校等への貸出しを実施した。
- 「デジタル技術の活用により新たな社会に対応する図書館」に向けた取組（8事業）
⇒ ・県・市町村が発行したポーンデジタル資料（ポーンデジタル行政資料）103件の当館Webサイトでの公開を試行実施した。
・Webサイト上で簡易な問合せに対応できるチャットボットを本格導入した。
- 「持続可能なサービス環境を備えた図書館」に向けた取組（12事業）
⇒ ・閉架書庫内の書架を増設した。



・ 事業計画は概ね順調に進捗したと評価できる。

（参考）「あいち文化芸術振興計画 2022年次報告書」の評価区分

| 評価区分 | 目標達成状況（評価の目安） | |
|------|---------------------------|--------------|
| A | 予定を上回る効果があり、着実に進捗 | 100%以上 |
| B | 予定どおり進んでおり、概ね順調に進捗 | 80%以上 100%未満 |
| C | 一部で予定どおり進んでおらず、やや進捗が遅れている | 60%以上 80%未満 |
| D | 予定どおり進んでおらず、進捗が遅れている | 60%未満 |

（参考）文部科学省告示「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（2012.12）

公共図書館は、当該図書館の基本的な運営方針を踏まえて策定した目標と事業計画について、毎年度、自己及び関係者・第三者による点検・評価を行い、PDCAサイクルによる進捗管理の実施に努めることとされている。